

生徒の学びを高め、生活する力を育てる技術・家庭科の授業

明戸中学校（実践者・報告者） 持 田 栄

- 1 題材名「自分の製作品をプレゼンテーションソフトを使って紹介しよう！（2年）」
（技術分野：内容B『情報とコンピュータ』）

2 題材の目標

ソフトウェアの基本操作について理解するとともに、デジタルカメラやスキャナ等の情報機器の積極的な活用を通して、収集した情報を主体的に判断し、処理・加工を施し、発信できるようにする。また、課題解決学習に取り組むことで、自らの生活を創意工夫していく能力を養うとともに、「情報モラル」についての理解を深め、情報を有効活用する態度をはぐくむ。

3 指導計画（15時間扱い）

- ソフトウェアの機能..... 1時間
- ソフトウェアの操作..... 2時間
- プレゼンテーションの作成..... 9時間
- 作品発表会..... 2時間**
- 情報モラルのある快適な生活... 1時間

レポート発表会（本時：1/2）

レポート発表会、まとめ

4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

情報教育の目標である「情報活用能力（情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度）」を生徒に育成するためには、課題や目的に応じて情報機器を適切に活用し、必要な情報を主体的に収集・判断し、目的に応じて処理、表現、創造することができるようにしなければならない。

また、情報機器の基本的な仕組みやメディアの特性を理解し、目的に応じて情報機器やメディアを活用できるようにすることも重要である。


情報社会の特質や情報化の進展がもたらす社会や人間に対する影響に関する知識を身につけ「情報モラル」の必要性を理解するとともに、個人情報や著作権を保護する態度、情報の信頼性と責任について理解を深めさせる。


5 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ 課題解決に向けた手段を考え、そのアイデアを生かすことができる。
- ・ 情報を伝える相手（聞き手）を意識して、情報の処理・加工をすることができる。

(2) 本時の展開

学習内容	生徒の活動	教師の働きかけ	評価と指導の工夫 評価の観点〔〕評価方法 評価規準 指導の工夫
前時の復習	・ 前時の学習内容を振り返り、本時の学習内容を理解する。	・ 「発表会」への意識を促して、学習意欲を喚起できるように努める。	簡単に触れる程度に留める。 
本時の学習目標の決定	・ 本時の学習目標を設定する。	・ 取組に具体性を持たせ、意欲を促す。	

<p>ポイントを押し さえた発表に するために (課題の把握)</p> <p>プチ発表会 (学習内容 の共有化)</p> <p>作品を修正す る (課題の解決)</p> <p>最終確認をす る (課題の克服)</p>	<p>課題 聞き手の心に響くプレゼンテーションをするためには、どうしたらよいか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて必要な事柄を考える。 (例) <ul style="list-style-type: none"> ・スライドを作る ・ポイント整理する ・4人1組のグループになり、プチ発表会を実施する。 (1人90秒) ・作品の修正に向けて修正点を確認する。 ・自分の作品を修正する。 ・修正点をチェックしながら、発表練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表のねらいを明確にさせ、そのための効果的な方法を考えさせる。 ・聞き手には、メモを取らせ、発表後の反省会で、発表者に助言させる。 (発表後2分) ・反省会のときに出された「助言」をもとに、修正点を意識させる。 ・聞き手の側に立ってスライドをつくることを意識させる。 ・聞き手(相手)を意識した取組が大切であることに気づかせる。 	<p>課題解決のための手段を考 えることができる。 生活技術能力〔記述・発言〕</p> <p>意欲的に発表しようとして いる。 生活技術へ関心・意欲〔観察〕</p> <p>記録用紙を用いて、「よいと 思ったところ(参考にしたい 点)」と「改善した方がよ いところ」を記入させ、発 表させる。</p> <p>聞き手(相手)を意識した 作品づくりができてい る。 生活技術能力〔観察・記述〕</p> 
<p>本時のまとめ</p> <p>次時の学習内 容の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を振り返り、今日のまとめをする。 ・次時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価シートをもとに本時の活動を振り返り、自己を見つめさせる。 ・次時の活動に向け意欲づけを図る。 	<p>本時の学習で理解したことを まとめることができる。 生活技術について理解〔記述〕</p> <p>次時の学習へ向け、意欲を 喚起する時間とする。</p>

6 成果と課題

コンピュータをはじめ、デジタルカメラやイメージスキャナ等に代表される情報機器の活用に生徒は、大変意欲的に取り組んでいる。応用ソフトウェア(プレゼンテーションソフトウェア等)の活用にも意欲的で、友だちと意見を交わしたり、情報交換を図ったりしながら、学習活動に取り組んでいる。今回、すべての生徒が、プレゼンテーションソフトを利用して作品を紹介することができた。また、生徒の中には、今後の学校生活で積極的にコンピュータを活用していきたいと意欲を燃やしている生徒がいることを忘れてはならない。今後は、生徒の興味・関心、意欲を育ていくとともに、ネチケットや「情報モラル」等についても、適宜指導を加え、生徒の情報活用能力をさらに高めていきたい。